



## 平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社 エスケーアイ  
 コード番号 9446 URL <http://www.ski-net.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 肥田 貴将  
 (氏名) 田川 正彦  
 TEL 052-262-4499  
 配当支払開始予定日 平成29年6月22日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	9,756	0.8	459	19.3	499	54.4	337	102.1
28年9月期第2四半期	9,675	3.5	384	△3.5	323	△18.7	167	△25.8

(注)包括利益 29年9月期第2四半期 397百万円 (289.6%) 28年9月期第2四半期 101百万円 (△71.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	31.75	30.44
28年9月期第2四半期	15.39	15.23

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	21,043	4,150	18.1
28年9月期	18,229	4,050	20.4

(参考)自己資本 29年9月期第2四半期 3,805百万円 28年9月期 3,716百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年9月期	—	10.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	13.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,325	1.9	865	13.3	835	27.6	485	53.9	45.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	10,856,500 株	28年9月期	10,856,500 株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	321,066 株	28年9月期	117 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	10,634,533 株	28年9月期2Q	10,856,383 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(5) その他	12
(重要な後発事象)	12
(参考資料)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、円安基調に流動的な動きもみられるなか資源価格の回復を背景に、企業業績については堅調な消費に支えられ、企業努力により概ね増益が可能な状況となっておりました。

このような経済環境のもとで、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は9,756百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益は459百万円（前年同四半期比19.3%増）、経常利益は499百万円（前年同四半期比54.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は337百万円（前年同四半期比102.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、平成28年12月末現在で携帯電話の普及台数が16,070万台を超えましたが、スマートフォン（iPhone7）を中心とする新機種が平成28年9月に発売され、各移動体通信事業者とも積極的な販売競争を展開し、電力と通信等とのセット販売も強化するなか、当社は各店舗において顧客満足度の向上と、総合力アップを図りながら販売促進に努め、販売台数も増加いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は、新規・機種変更を合わせ84,596台（前年同四半期比3.1%増）となりましたが、積極的な営業施策を展開し、販売の効率性を図った結果、売上高は8,552百万円（前年同四半期比1.4%増）でしたが、営業利益は222百万円（前年同四半期比26.5%減）となりました。

## ②再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、平成26年9月に岐阜県に「エスケーアイ岩村発電所」を開設後、現在6発電所（内1ヶ所は子会社のエスケーアイ開発株式会社が運営）が順調に稼働している他、今後の和歌山および東広島の大規模プロジェクトについても順調に推進しているため、先行投資も継続的に発生しております。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は191百万円（前年同四半期比328.2%増）、営業利益は57百万円（前年同四半期は7百万円の営業損失）となりました。

## ③保険代理店事業

コールセンターを拠点とした保険代理店事業につきましては、子会社である株式会社セントラルパートナーズにおいて、平成26年4月に開設した新潟支店の業績も順調に推移しており、更に販売力と一人あたりの生産性の向上に繋げるほか、複数の保険会社の商品の取扱を継続しております。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は603百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業利益は114百万円（前年同四半期比148.5%増）となりました。

## ④葬祭事業

葬祭事業につきましては、子会社であるエスケーアイマネジメント株式会社は平成21年9月に設立後、平成22年7月に葬儀会館「ティア西尾」をオープン以降現在5会館を運営し、各会館の更なる認知度の向上と今後の需要を見据えた積極的な営業政策を継続しており、着実にその成果が現れております。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は378百万円（前年同四半期比10.2%増）、営業利益は61百万円（前年同四半期比104.1%増）となりました。

## ⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社で平成19年8月に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープン後、稼働率が順調に推移しております。但し、当期につきましては、太陽光設備等は販売しておりません。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は39百万円（前年同四半期比89.6%減）、営業損失は1百万円（前年同四半期は16百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の状況は、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が249百万円増加し、また、売掛金が227百万円、商品が248百万円増加したことなどにより、流動資産は706百万円増加し7,861百万円となりました。一方、固定資産は有形固定資産が2,148百万円増加したことなどにより、全体で2,107百万円増加し13,182百万円となりました。その結果、資産総額は2,813百万円増加し21,043百万円となりました。

負債については、前連結会計年度末と比較して買掛金が137百万円増加したものの、短期借入金485百万円減少したことなどにより、流動負債は301百万円減少し6,728百万円となりました。一方、固定負債は長期借入金2,829百万円増加し、社債が290百万円増加したことなどにより、全体で3,015百万円増加し10,164百万円となりました。その結果、負債総額は2,713百万円増加し16,893百万円となりました。

また、純資産については、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が225百万円増加したものの、自己株式が161百万円増加したことなどにより99百万円増加し4,150百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の業績予想につきましては、第2四半期連結会計期間までに為替差益および前社長の逝去に伴う特殊要因(平成28年12月28日付「特別利益及び特別損失の発生に関するお知らせ」で公表)がありました。移動体通信機器販売関連事業については、通信事業者の営業施策による変動要素はあるものの、第3四半期以降も売上高および各利益が計画に沿って推移する見通しで、再生可能エネルギー事業も順調に推移しているため、第2四半期会計期間で計画を上回った各利益については、通期でも当初計画(平成28年11月10日付決算短信で公表)を上回る見通しとなりました。

したがって、売上高につきましては変更はありませんが、経常利益については70百万円、当期純利益については100百万円各々増加し、売上高を16,200百万円、経常利益を500百万円、当期純利益を317百万円に修正しております。

また、子会社であるエスケーアイマネージメント株式会社につきましては、積極的な営業施策が奏功し、当第2四半期連結会計期間では売上高・各利益とも過去最高金額で推移しており、通期でも順調な推移が予測されるため、売上高について17百万円、営業利益について25百万円、経常利益について27百万円、親会社株主に対する当期純利益について38百万円各々増加し、売上高を675百万円、営業利益を61百万円、経常利益を53百万円、親会社株主に帰属する当期純利益を45百万円に修正しており、他の子会社も当初の計画通り進捗する見通しです。

この結果、連結業績予想の当初計画(平成28年11月10日付決算短信で公表)に対しまして、売上高は17百万円増加の18,325百万円、営業利益は3百万円増加の865百万円、経常利益は84百万円増加の835百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は145百万円増加の485百万円に修正しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,706,419	3,955,659
売掛金	2,425,834	2,653,704
商品	819,764	1,068,713
繰延税金資産	51,056	55,229
その他	152,039	127,966
流動資産合計	7,155,114	7,861,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,732,087	1,670,831
機械装置及び運搬具(純額)	2,175,598	2,104,867
土地	1,924,886	1,924,886
建設仮勘定	3,162,140	5,423,013
その他(純額)	33,584	53,173
有形固定資産合計	9,028,297	11,176,773
無形固定資産		
のれん	180,568	180,568
その他	267,798	257,808
無形固定資産合計	448,366	438,377
投資その他の資産	1,598,068	1,567,042
固定資産合計	11,074,732	13,182,192
資産合計	18,229,847	21,043,466
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,403,019	1,540,398
短期借入金	※1 4,275,000	※1 3,790,000
未払法人税等	47,248	111,034
賞与引当金	91,077	98,982
役員賞与引当金	70,750	27,600
その他	1,142,478	1,160,204
流動負債合計	7,029,574	6,728,220
固定負債		
社債	710,000	1,000,000
長期借入金	※2 5,411,733	※2 8,241,695
繰延税金負債	439,139	455,685
役員退職慰労引当金	271,810	84,600
退職給付に係る負債	73,199	79,758
資産除去債務	212,673	214,134
その他	31,161	89,073
固定負債合計	7,149,718	10,164,947
負債合計	14,179,292	16,893,168

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,364	729,364
資本剰余金	666,862	666,862
利益剰余金	1,924,506	2,150,036
自己株式	△26	△161,533
株主資本合計	3,320,707	3,384,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	395,426	461,292
繰延ヘッジ損益	—	△40,160
その他の包括利益累計額合計	395,426	421,132
新株予約権	53,123	35,155
非支配株主持分	281,297	309,280
純資産合計	4,050,554	4,150,298
負債純資産合計	18,229,847	21,043,466

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	9,675,454	9,756,738
売上原価	7,194,909	7,238,842
売上総利益	2,480,545	2,517,896
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	806,517	848,127
賞与引当金繰入額	98,810	110,827
役員賞与引当金繰入額	35,375	△3,000
退職給付費用	9,459	11,126
役員退職慰労引当金繰入額	12,050	10,010
その他	1,133,443	1,081,504
販売費及び一般管理費合計	2,095,655	2,058,597
営業利益	384,889	459,298
営業外収益		
受取利息	904	1,612
受取配当金	13,263	10,772
為替差益	—	87,721
その他	11,961	15,848
営業外収益合計	26,129	115,954
営業外費用		
支払利息	25,952	43,204
融資手数料	16,912	17,956
投資有価証券評価損	13,480	—
為替差損	18,996	—
その他	12,153	14,729
営業外費用合計	87,494	75,890
経常利益	323,524	499,363
特別利益		
固定資産売却益	6,276	413
受取保険金	11,868	254,990
新株予約権戻入益	—	25,889
その他	—	600
特別利益合計	18,144	281,893
特別損失		
固定資産除却損	2,720	3,491
ゴルフ会員権評価損	1,100	—
役員退職慰労引当金繰入額	—	146,810
弔慰金	—	150,000
店舗盗難損失	11,640	—
減損損失	11,183	23,182
その他	—	208
特別損失合計	26,645	323,692
税金等調整前四半期純利益	315,024	457,564
法人税、住民税及び事業税	42,109	89,330
法人税等調整額	98,287	△3,414
法人税等合計	140,397	85,915
四半期純利益	174,627	371,648
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,590	33,993
親会社株主に帰属する四半期純利益	167,036	337,655

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	174,627	371,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72,636	65,841
繰延ヘッジ損益	—	△40,160
その他の包括利益合計	△72,636	25,680
四半期包括利益	101,991	397,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,543	363,360
非支配株主に係る四半期包括利益	7,447	33,968

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	315,024	457,564
減価償却費	115,645	161,606
賞与引当金の増減額(△は減少)	818	7,904
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,625	△43,150
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,618	6,559
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,930	△187,210
株式報酬費用	15,937	8,718
受取利息及び受取配当金	△14,168	△12,384
支払利息	25,952	43,204
社債発行費	8,289	9,539
固定資産除売却損益(△は益)	△3,556	3,287
投資有価証券評価損益(△は益)	13,480	—
売上債権の増減額(△は増加)	△189,745	△227,869
たな卸資産の増減額(△は増加)	231,323	△248,949
仕入債務の増減額(△は減少)	△480,319	137,379
未払金の増減額(△は減少)	△43,594	△4,328
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,532	4,215
為替差損益(△は益)	18,996	△87,721
新株予約権戻入益	—	△25,889
受取保険金	—	△254,990
弔慰金	—	150,000
減損損失	11,183	23,182
その他	50,077	△89,802
小計	39,737	△169,134
利息及び配当金の受取額	13,219	12,986
利息の支払額	△25,928	△42,830
保険金の受取額	11,868	300,000
弔慰金の支払額	—	△150,000
法人税等の支払額	△102,425	△50,343
法人税等の還付額	—	33,452
営業活動によるキャッシュ・フロー	△63,528	△65,870
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21	—
有形固定資産の取得による支出	△2,458,809	△2,250,631
有形固定資産の売却による収入	18,154	1,128
無形固定資産の取得による支出	△160,975	—
投資有価証券の取得による支出	△100,000	—
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
差入保証金の差入による支出	△18,892	△3,563
差入保証金の回収による収入	7,933	1,708
預り保証金の受入による収入	38	456
その他	△774	△10,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,713,346	△2,161,221

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	55,000	△485,000
長期借入れによる収入	2,840,000	3,038,000
長期借入金の返済による支出	△112,080	△184,980
社債の発行による収入	491,710	490,460
社債の償還による支出	△90,000	△140,000
リース債務の返済による支出	△7,710	△2,100
配当金の支払額	△162,758	△108,604
非支配株主への配当金の支払額	△5,985	△5,985
自己株式の取得による支出	—	△171,565
ストックオプションの行使による収入	—	5,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,008,175	2,435,924
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,996	40,406
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	212,303	249,239
現金及び現金同等物の期首残高	3,229,688	3,586,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,441,992	3,835,646

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	移動体通信 機器販売関 連事業	再生可能 エネルギー 事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	8,432,708	44,780	561,897	343,651	292,416	9,675,454	—	9,675,454
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	88,446	88,446	△88,446	—
計	8,432,708	44,780	561,897	343,651	380,863	9,763,900	△88,446	9,675,454
セグメント利益 又は損失(△)	303,164	△7,357	46,069	30,284	16,911	389,072	△4,183	384,889

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「移動体通信機器販売関連事業」セグメントにおいて、11,183千円の固定資産の減損損失を計上しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、エスケーアイ嵐山発電所、エスケーアイ東員第1発電所を開設しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「再生可能エネルギー事業」において1,262百万円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	移動体通信 機器販売関 連事業	再生可能 エネルギー 事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	8,552,030	191,772	603,830	378,775	30,330	9,756,738	—	9,756,738
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	9,458	9,458	△9,458	—
計	8,552,030	191,772	603,830	378,775	39,788	9,766,197	△9,458	9,756,738
セグメント利益 又は損失(△)	222,779	57,382	114,485	61,823	△1,507	454,963	4,334	459,298

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「移動体通信機器販売関連事業」セグメントにおいて、6,635千円の固定資産の減損損失を計上しております。

(5) その他

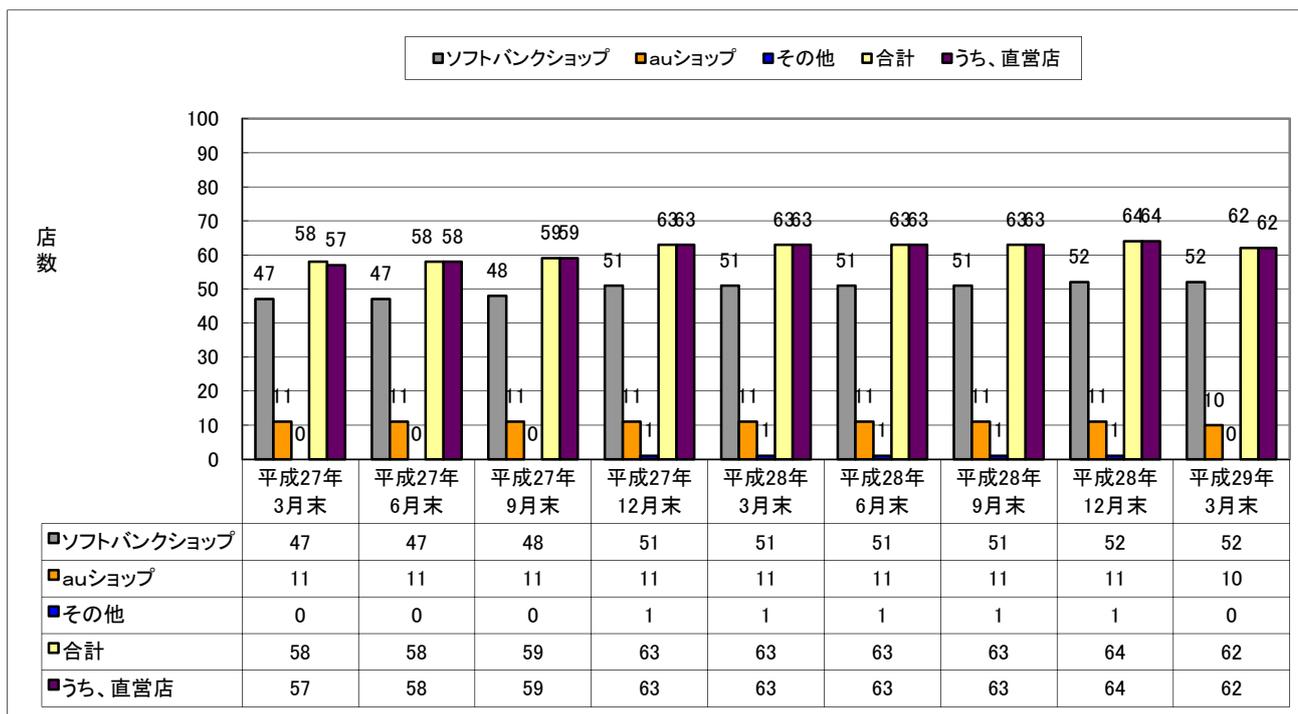
(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(参考資料)

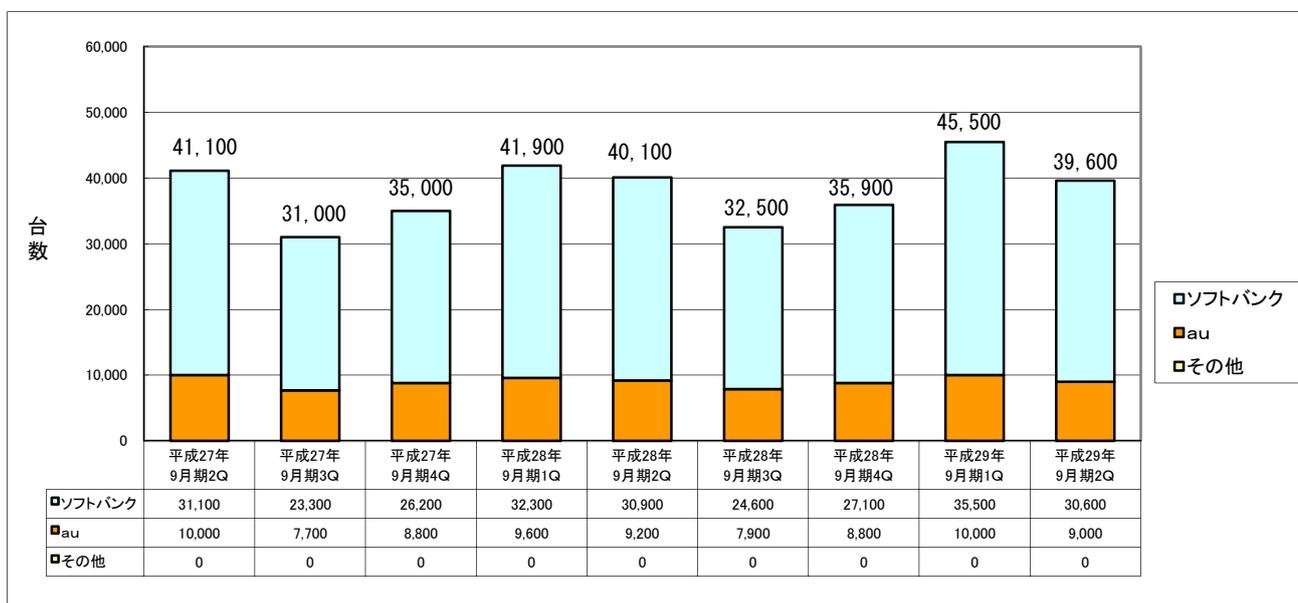
四半期毎の店舗数推移

(単位：店)



四半期毎のキャリア別取扱台数

(単位：台)



なお、台数については百台未満を四捨五入しております。

上記取扱台数に占める新規販売台数の割合及び直営店による取扱比率

(単位：%)

	平成 27 年 9 月期 2Q	平成 27 年 9 月期 3Q	平成 27 年 9 月期 4Q	平成 28 年 9 月期 1Q	平成 28 年 9 月期 2Q	平成 28 年 9 月期 3Q	平成 28 年 9 月期 4Q	平成 29 年 9 月期 1Q	平成 29 年 9 月期 2Q
新規販売比率	46.9	44.7	40.7	36.3	48.4	40.0	33.2	29.7	34.8
直営店取扱比率	99.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0